

多面的機能支払(農地・水・環境保全向上対策)の紹介

にしとみだちょうみずさとかい

「西富田町水郷会」(鈴鹿市)の活動組織のご紹介

1. 組織設立の経緯

近年、当町における農業環境は、農業者の高齢化や離農業者の増加による後継者不足で、これまで農業者を中心にした農業関係施設の維持管理が困難になってきていました。そこで、国の「農地・水保全管理支払交付金制度」を活用して活動する組織の設立を検討し、平成24年度に町内有志(農業者・非農業者関係なく)で活動組織を設立しました。

設立初年度は共同活動支援交付金の活動から取り組みましたが、平成26年度の制度移行「多面的機能支払交付金制度」に併せて、資源向上支払(施設の長寿命化活動)にも取り組んでいます。

2. 施設概要と構成員内訳(令和2年度現在)

- (1)施設の概要・農用地(田・畑) A=37ha
・水路 L=7.7km ・農道 L=5.9km
- (2)構成員内訳・45名(農業者 8名、非農業者 37名)
上記には、3団体～自治会、長寿会、PTAの各正副会長計6名を含む)

3. 活動内容

毎年度末に、役員により当年度活動の反省と各施設の点検・機能診断を行い、次年度の年間活動計画案を策定して、年初の総会で提案し承認を得て活動を推進しています。

(1)農地維持活動～稲作の始まる春から夏にかけて、水路/農道法面の草刈り、水路の泥上げ、農事用灌漑ポンプの運転/ゲート類の通水調整を実施しています。また、毎年6月には住民総出で水路/農道法面の草刈り、水路の泥上げ(写真1)を実施しています。

(2)資源向上共同活動～機能診断結果や住民からの通報に基づき、水路、農道等の施設の補修を極力直営で(写真2)地域住民との協同で実施しています。



写真1 住民総出の泥上げ



写真2 倒壊水路壁の補修

モス祭り)を開催しています。ここ数年来400名を超える参加者があり、ゲーム大会やコスモス畑を散策(写真3)するなど楽しい一時を過ごし交流を深めています。また、広場開催時には、次代層を対象に周辺水路に生息する生き物の生息調査(写真4)も実施。予め構成員が捕獲(安全上)した生き物を手やタモで捕獲し持ち帰ってもらっています。

なお、今年度の広場は、コロナウイルス感染防止を考慮し中止しましたが、開花したコスモス畑には、連日のように多くの近隣住民や通行者が立ち寄り賑わっていました。



写真3 交流広場コスモス畑散策



写真4 生き物生息調査

(3)資源向上長寿命化活動

町内には、自治会で管理する農事用ポンプが6基あり、経年劣化から汲み上げ能力が極端に低下しているポンプがあった為、交付金を活用して順次更新しています。また、悪臭で困っていた素掘り水路のコンクリート底化(写真5)や、大雨が降る度に土砂の流入が発生する水路の水路壁嵩上げ(写真6)等実施しています。



写真5 水路底のコンクリート化



写真6 水路壁の嵩上げ

4. 総括

当制度による支援策は、困難化する農業関連資源の維持・保全を後押ししてくれる制度として、有意義な制度だと期待しています。

今後とも、地域ぐるみで農業資源を保全・管理するために一層の組織強化を図り、また、町内の約85%を耕作する担い手農家の作業軽減に繋げる活動を重点的に実施し、担い手との連携のもと、この支援制度を効果的に活用していきたいと考えています。

「ゆたころ豊かなあわの村」(伊勢市)のご紹介

●活動組織概要

協定地域：伊勢市栗野町地域

協定面積：約6,400a

設立月日：平成19年4月1日

●地域の状況

伊勢平野の一角で、一面水田と畑の地域で、山はない。やはり課題は高齢化による後継者不足。そこで、農地中間管理機構を活用し、農地の半分以上を担い手に預けることにより、農業の継続を図っている。

●主な活動内容

- 農用地法面・農道・水路の草刈り・補修
- 遊休農地を利用した景観形成
- ホタルまつり
- 汁谷川生物調査
- さつまいも収穫祭
- しめ縄作り
- ホームページの開設、新聞発行（年2回）



ホタルまつり



水生生物生息調査



水路泥上げ

●こうした活動を、つながって支え合っているグループを紹介

この地域を、より住みやすい町、となり近所の顔が見える町にしたいという思いで、多くの方が働いてくださっている。

構成団体：栗野区自治会、きずな会、コスモス会、婦人会

○「きずな会」高齢者の男性約50人のボランティア団体

元々は自治会の草刈りの補完作業を行っていたグループである。農村文化の伝承を目的とした「しめ縄づくり」

にも取り組んでいる。「しめ縄づくり」は、親子孫の3世代がしめ縄づくりを体験するが、そのほか編んだ縄で「リース飾り」や「わら細工」などを作って楽しんでいる。



親子孫3世代しめ縄づくり体験



出来上がったしめ縄

○「コスモス会」高齢者の女性約20名のグループ

サロンなどの開催を通じて町内の人々との交流を図っている。遊休農地の活用として、ひまわり・コスモス・パンジーなどの植栽を行なっている。

「さつまいも収穫祭」は、紅春香・安納芋などのさつまいもを、子供たちを中心にいも掘りを楽しんだ後、その場で焼き芋にしたりしていただく行事。その際、さつまいもを使った菓子や「いもぜんざい」など工夫をこらした食事で参加者に喜ばれている。



さつまいも収穫祭



「いもぜんざい」などで、子ども達も満腹

こうした人々の活躍により私たちの組織の運営がスムーズにいき、それぞれの行事の参加者の増加にも貢献していることに感謝する。

ぜひ、私たちの活動をホームページで見てください。

「こころ豊かなあわの村」で検索するか、「awanomura.eco.coocan.jp」でご覧ください。

多面的機能支払交付金の安全研修と事務研修

令和2年度の制度改正により、「機械の安全使用に関する研修」が追加され、活動期間中に1回以上実施することが義務付けられました。これに伴い、令和2年度に終期を迎える

活動組織を対象に「機械の安全使用に関する研修」と共に「事業完了に向けた事務研修」を開催いたしました。